

よんでみたいな！

5・6年生



『さっ太の黒い子馬』

小俣 麦穂 著

ささめや ゆき 絵

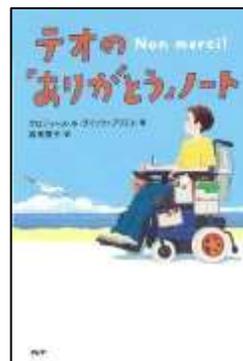
講談社

品川区立図書館

『テオの「ありがとう」ノート』

クロディーヌ・ル・グイック＝プリエト 著

坂田 雪子 訳 PHP研究所



12歳のテオは、家族と離れて、障がい者施設で暮らしている。

体が不自由なせいで、人より多く「ありがとう」と言うことに疑問を持ち、自分が「ありがとう」と言われたら、ノートに書き留めることにした。

そこで、色々々と挑戦をするうちに、小さい子にも慕われるようになっていく。

『^{そらと}空飛ぶリスとひねくれ屋のフローラ』

ケイト・ディカミロ 作 K・G・キャンベル 絵

徳間書店

フローラのとなりの家では、ティッカムさんが庭に掃除機をかけていた。すると、近くにいたリスを掃除機で吸い込んでしまう。フローラがリスを助けると、リスの様子がふつうとはちがう。

そんなリスをスーパーヒーローと考えたフローラは…。



『日小見不思議草子』

藤重 ヒカル 作 飯野 和好 絵
借成社



日小見というしずかな古い町。どこにでもありそうなこの町には、不思議なことばかりおこる。

サルにもらった刀をふるとたんぽぽが鼻から咲いたり、春を切り取ったような絵の具をもってくる少女がいたり。

今に伝わることなく消えていった五つの本当のおはなしとは…。

『転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由』

白井 二美男 著
ポプラ社

義肢装具士が、義足の人のためにできることって、なんだろう？

義足の人の多くが、今の時代でもあまり外に出たがらず、家にいるという現実がある。だから、新しい人生を踏み出すお手伝いをしたい。

寝る時間をけずって、ひたむきに義足を作りつづける義肢装具士の本当の話。



『新津春子。世界一のおそうじマスター！』

若月 としこ 著
岩崎書店



2年連続「五つ星」を獲得した羽田空港は、美しい空港として評価されています。そんな羽田空港を支えているのが、「環境マスター」の新津春子さん。

17歳で中国から日本へ帰化し、清掃という仕事に全身全霊をかけ、清掃のプロとして働く新津さんの姿を描いています。

『さっ太の黒い子馬』

小俣 麦穂 著 ささめや ゆき 絵
講談社

さっ太の暮らす里では、子馬の世話をじゅうぶんにできる子どもに一頭ずつ馬を与える、子馬選びのお祭りが開かれていた。さっ太は、きれいな黒い子馬をもらいたいとずっと願っていた。

ところが、千吉も黒い馬をほしいと言い出し、どちらが馬をもらえるか決めるため、二人は、試練の旅に出ることに…。



『神隠しの教室』

山本 悦子 作 丸山 ゆき 絵
童心社



悩みを抱え、別の場所へ行ってしまいたいと願っていた加奈たち5人は、誰もいない学校へと突然ワープしてしまう。元の世界は大さわぎになったが、加奈たちは5人だけの学校を楽しんでいた。

神隠しにあった5人は、元の世界に帰ることができるのでしょうか？そして、悩みは解決するのでしょうか？

『ケンガイにっ！』

高森 美由紀 作 加藤 休ミ 絵
フレーベル館

小学5年生の俊は、オンラインゲームにはまり、やめられなくなってしまう。そんな俊が、田舎の祖母の家で過ごすことに。そこは、携帯も通じない「圏外」だった。

オンラインゲームから離れ、おばあちゃんと過ごす田舎での生活を通して、俊の心は次第に変化していく。



『ルイ・ブライユと点字をつくった人びと』

高橋 昌巳 監修
岩崎書店



点字は、6つの点を組み合わせた指で読む文字です。

盲目のルイ・ブライユは15歳のときに、当時の12個の点でできた点字から、より読み書きしやすい6点点字を考えました。

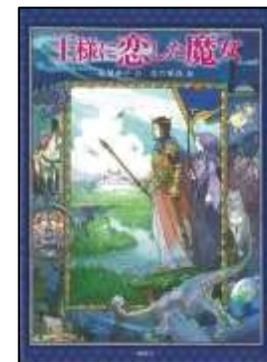
そんなブライユの点字が、どのように世界に広まったかを書いた本です。

『王様に恋した魔女』

柏葉 幸子 作 佐竹 美保 絵
講談社

むかし、朝霧の国という、濃い白い霧がかかる国があった。朝霧の国にはクモの手とよばれた魔女がいて、ほかの国から攻められても、クモの手のおかげで何とか守られていた。そして、どの国も国に仕える魔女を求めた。

国に仕える、名を明かさぬ「杖殿」とよばれる魔女たちのおはなし。



『森の石と空飛ぶ船』



岡田 淳 作
借成社

桜若葉小学校の6年生、シュンは学校で白いネコのエリを助けた。すると、むこうの世界「サクラワカバ島」にまよいこんでしまう。

島の大切な「森の石」をうばいに来るなぞのロボットたちから身を守りながら、おもいもよらない大冒険が始まる。

『五感ってなんだ！まるごとわかる「感じる」しくみ』

坂井 建雄 監修 山村 紳一郎 著
誠文堂新光社

普段、私たちの体は、外の世界からさまざまな種類の感覚を得ています。「五感」と呼ばれる感覚をはじめ、さまざまな感覚と、脳のはたらきにより、私たちは生活をしているのです。

私たちの体と脳のしくみについて知ること、日々の生活が、楽しくおもしろく感じられるようになる一冊です。



このリストは、図書館の職員が、5・6年生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-3-2-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉 1-4-2-5	☎3782-2036
荏原図書館	中延 1-9-1-5	☎3784-2557
南大井図書館	南大井 3-7-1-3	☎3761-6780
源氏前図書館	中延 4-1-4-1-7	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町 1-1-7-7	☎3785-6677
大井図書館	大井 5-1-9-1-4	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田 6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎 2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮 5-1-0-2-7	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2017 . 10 発行